

第9回 第2次豊田市文化芸術振興計画に関するアンケート

実施期間：11月17日（水）～11月28日（日）

回答者数：183人

【1】あなたは、この1年間でどのくらい「文化芸術」に触れたと感じますか？

たくさん触れた	16
少し触れた	74
ほとんど触れなかった	93

【2】コロナ禍の以前と比べて、「文化芸術」を楽しむ時間は増えましたか？

増えた	10
変わらない	79
減った	94

【3】あなたにとって「文化芸術」のイメージは、次のうちどちらですか？

非日常感・特別感を味わうもの	117
日常の中で自然と触れるもの	47
どちらでもない、分からない	23

【4】市内における「文化芸術」の鑑賞・活動機会が充実することにより、期待することは何ですか？

暮らしの中に楽しみを見出せる	96
地域社会・経済の活性化につながる	13
市や地域のイメージが向上する	15
子どもが心豊かに成長する	49
分からない	8

その他

教養を高められる	
名古屋や岡崎などに出かけなくてよくなるとよい。それには、名古屋や岡崎などから集客できる企画が可能か？	

【5】暮らしの豊かさやまちの活性化などのために、「文化芸術」と連携すると良いと思う分野はどれですか？（3つまで選択可）

観光	96
まちづくり	102
福祉	25
教育	105
産業	27
国際交流	41
分からない	2

【6】あなたが文化芸術に親しみ、充実した生活を送るためには、次のうちどの施策が重要だと考えますか？（2つまで選択可）

施策1「多様な鑑賞・体験の機会の拡充」	143
施策2「活発な創作活動の推進」	33
施策3「活動する人々の連携とまちの活性化への展	54
施策4「文化芸術活動を支える基盤整備」	44

【7】「第2次豊田市文化芸術振興計画」について、ご意見をお聞かせください。

基本理念から施策の実施まで、主体となるべきは豊田市民であるはずだと思いますが、実際の運用状況では市外からのノウハウで市外からの活動主体が豊田市内で活動を行っており、参加するのも市街の人々という事例が目立つように思います。
本来主役となるべき豊田市民がいない。取り組み、創作活動、鑑賞などすべての面で豊田市民の影が薄い。
優秀な人材をブレンとしてメンバーに加え、機会や場所の提供をすることも重要なことですが、豊田市民が主体となって活動できる状況にすべく計画を推進していただきたいと思います。

取り組むべき課題と対応方針の視点2の仕組み作りが大切で、基盤整備のようなモノづくり以上にコトづくりが重要だと思う。受け身の鑑賞や体験だけではなく、それから発展して主体的に芸術の企画・推進に取り組めるような仕組みを作ることが大事。コト作りによって、芸術・文化の発展だけではなく、街の活性化にもつながると思う。

文化芸術に触れたい気持ちは大いにありますが、ハードルが高い分野もあります。親しみやすさや良さをアピールしたり、参加する際の金額を考慮したり等、関心から参加へいきやすい環境があるといいと思います

おおむね賛成。市としてやれることは全て詰め込まれている印象を受ける。いかに大人が参加してくれるかですね。あとは予算次第かと。

中学生の次女の心に残る記念事業がコロナで中止になり残念でした。

子どもだけでなく、大人も気軽に体験できる機会があればいいと思う。
イベントは小さい子がいないと参加しにくいものが多い。

参合館1Fのピアノにこどもが興味を示して、良い影響を与えてくれました。
観るだけでなく、楽器と触れ合えたり、実際にやってみたりできると小さい子の刺激になり、その後につながるかと思います。
また、子どもが絵を描くのが好きなので、写生大会だったりがあったら嬉しいと思います。
豊田市美術館も素敵な場所だと聞いたり、松平和太鼓も豊田市駅で聞いて感動したので、豊田市の文化を市民の皆さんがより感じられると良いです。

文化芸術に興味がないため、そういう方へ、
魅力等をアピールする機会を設けたらよいと思います。

市民が絵や書道作品や陶芸作品などを気軽に展示できる場所がない。「活発な創作活動の推進」の主な事業として例示されているのは何れも大げさなものばかりです。市民ギャラリーを増やし、市民グループや個人が発表できる場を増やすことが、市民の生活の中に根を下ろした創作活動が根付くのではと思います。

豊田市民は、文化芸術面において恵まれていると思う。
但し、合併前の山間部においてはどうか。（小原の歌舞伎伝承館は素晴らしかった）

文化芸術は私たちの身近にあってほしいものです。それは心のゆとりです。ゆとりを持つ生活がみんなの心を優しくし、社会を豊かにするのだと思います。楽しい人生を送るために必要不可欠なものです。子供のころからいろいろなことに親しみ、自分で作ったり、行動したりできるような機会を多く作ってほしいと思います。私は若くはないけれど、いろいろな楽しみを見つけて生きていければと思っています。多くの人が共感する事業を行ってほしいです。

基本施策1、2、4についてはとてもよくやれていて誰もがそう思っていると思います。しかし、施策3については市民はほとんど知らないなので適切な広報活動を行うべきだと思います。広報豊田でもこのような記事が出たことは一度もありません。各部署の連携がもっと必要なのではないでしょうか？

多様化する現代社会においてなかなか文化芸術作品に触れる機会もない。
しかし芸術作品を鑑賞したり、観劇したりするのは精神を安定させ心にゆとりを持たせる。
それ故市が計画している振興計画には大いに期待しています。
特に学生や高齢者が参加できるようにするのはいいと思います。
しかし計画書を見ているとあまりにも幅広く、背伸びしているようにも感じられます。
予算も多くかかりそう。
計画倒れにならないようにして下さい。

文化芸術に興味がある市民の割合が61%、文化芸術の鑑賞、見学を行っている市民の割合が70%と非常に高い数字だが、実際に文化芸術活動をやっているのは28%と低いのはなぜか？

「興味があるがやらない!!!」のが本音かも知れない。
やはり、PR不足です、トヨシバも出来てとても良い環境になって来た。
計画の対象とする文化芸術のすべての範囲を取材し特集を組みひまわりTVを通じて紹介してほしい。
市民文化会館のような大きな舞台や施設でなくても（トヨシバ舞台）でも十分にPRが出来ます。
市民に気楽に（目に触れる）環境作りが大切です。
もっと、路上ライブやストリートパフォーマンスの小規模な活動の人達を取材し（ヒマワリTV）で特集を組んで紹介して欲しい。

文化や芸術に接する機会は、家庭で差があると思います。親の趣味や考え方、生活などにより興味を持つものが違ってくるように思います。コロナが落ち着いたら、文化芸術に関わるイベントを行ったり、学校を通して文化芸術に触れる機会があると良いように思います。

大人になると興味がないとなかなかそういった分野に触れる事がない。
せめて、小さい頃に見たことある！体験した事ある！など幼少期に少しでも体験だけでもしておくのと踏み込みやすいと思います。
また、子どもの頃にそういう体験ができると親もいっしょに学べる事が多々あると思います。

子供のころから、園児から高校生と言うように、段階的に文化芸術に触れるような仕組みづくりが必要かと思います。それが定着すれば大人は自然に触れると思う。

- 1,スタジアムの西側広場で、コロナ禍以前には中学生や社会人の人達の音楽演奏会をよく聞いていたことがありました。
- 2, コロナ禍以前には12月のクリスマスコンサートがとても楽しみでした。自分が楽器演奏をできないだけに、音楽鑑賞はとても楽しみの一つです。
- 3, 市美術館にこれまでに、3回ほどいきましたが気持ちがゆったりと出来ていい時間を過ごせたなーと振り返れば思います。
- 4, 渡刈町のエコットには、コロナ禍以前には月一回程度で訪問してリュウス工房とエコット内の展示品・焼却炉の見学・インタープリターさんの説明等々楽しみがありました。ウイズコロナで感染対策を万全にしてそろそろ訪問して、情報収集・教養を高めていかなければと考えています。
- 5, エコフルタウンの訪問も、日常生活の中では普通でしたがコロナ禍以前のように早くなりたいものです。
- 6, 豊田自然観察の森の、毎週水曜日の森歩きが「あべまきの会」の人達の案内で参加することが楽しみとなっております。
- 7, 豊田市役所保健部で実施中の「あいち健康プラス」のウォーキングで自己の目標歩数を設定しての取り組みが現在の毎日の習慣でとても楽しみです。600人余りの中での順位・年代別順位で日々励みとなっております。全体では、5位以内に年代別では1位をキープしており楽しみの一つで引き続きウォーキングに励むつもりです。

成果指標の中の「文化芸術に興味のある市民・児童生徒の割合」が上昇していることがとてもうれしいです。教育の中で芸術に触れて、それをきっかけに自分の可能性を見出せるのは多様性のある街づくりにつながると思います。

上記のことから、豊かな個性と創造性あふれる人づくりの「視点1：人づくり」の取り組みの中でも、特に「子どもたちが文化芸術に親しむ機会の拡充」の内容を増々強くしてもらえるとうれしいです。よろしくお願いいたします。

豊田市美術館は昨今市外からも鑑賞に訪れる人が増えている。

舞台やミュージカルは、近隣だと刈谷や日進などに比べるとプログラムが見劣りする。改善を期待する

とくにはありません

応援したい計画です。

子供から大人まで、市内で鑑賞出来る機会が増えると良いなと感じています。

機会の拡充を大変期待がしています。GO TU文化鑑賞?のような支援活動期待します。盛り上がると思います。

当市は経済活動、スポーツ等は活発な感じがしますが、芸術関係は寂しいですね。地域の風土が芸術に馴染んでいない？コロナ明けよりもっと多くのイベントを打ち出すべきと思います。

クラシック音楽への力の入れ具合が強いような気がするので、愛知県立芸術大学の文化祭サテライト会場を豊田市に誘致。

あるいは、愛知県立芸術大学音楽科の定期演奏会の常演会場として豊田市コンサートホールを使う。大学オケの会場は現状県芸文センターが多い気がします。西三河の中心に音楽の殿堂を打ち立ててもいいのでは。

子供達が自由に選択して町作りをしていける世の中でありたい。

芸術に触れるのは高いお金がかかる印象があり、敷居が高い。

子供が学校で芸術鑑賞できるのはとてもありがたい。

大人にも節目の年などに芸術鑑賞をできる（無料や格安で）機会があればいいなと思う。

理念ばかりで抽象的で、具体的な重点施策と狙う実現効果が判然としない。

革新的な取り組みが見えない。

これまでの活動効果は何で、市民に理解されているのか。

これまでの活動の反省点は何か。

その結果は、どこに問題があるのか、このままで何が問題なのか。

そもそもの計画の問題点は何だったか。

それは本当に必要だったのか、無駄だったのか。

計画の前に、現状の分析と課題の見える化を求める。

なかなか身近に感じる事が難しいと決め込んでいる文化の世界が身近になるように機会が増えると良いと思います。

いつでも美術館が自由に鑑賞出来ると理想です。勿論無料もしくはかなり安い入館料で無いといけません。

スタジアムでのコンサートや、スポーツ観戦などを積極的にすると、町が活性化すると思う。大きなモールや、ショッピングセンターができるとうい。

北海道物産展や沖縄など他の県の文化を学んだり特産物の販売などのお祭りをしてほしい。

美術館に有名な展示をしてほしい。韓国の食べ物、グッズを買えるお祭りをしてほしい。

普段会うことのできない著名人を招待してほしいです。

触れ合う音楽をクラシックだけでなくジャズや民謡のようにいろんな種類を入れてほしい。

岡崎のジャズストリートみたいに地域を交えたイベントものも良いと思う。

子供の頃に経験があるとその後も機会があれば目につくと思う。興味がないと情報にも目が行かないと思うので子供のうちに体験できる機会を作る。息子は地域の祭りで太鼓を叩く機会があったか良い経験になった。

子供が文化に触れ合う機会が少ないように思います。学校行事で企画してくださっている演奏会やミュージカル鑑賞の機会はありがたいです。市で開催しているイベントも楽しみにしています。

家庭の経済事情により、実費では文化公演に参加できないお子さんの為にも、学校やこども園の文化鑑賞増えるよう補助を出して頂けると嬉しいです。

私も積極的に鑑賞したいと思います。

小さい子供と一緒にいけるコンサート、演劇が非常に少ないです。行きたいなと思っても見ると未就学児入場不可だったり、4歳未満は入場不可と書いてあることが多いです。子育て中のお父さんお母さんも子供と一緒にいける、そういう機会をもっと増やしてほしいなと思います。

気軽に足を運ぶことのできる環境

小中学生の文化芸術への興味の割合が上がったことはいいことだと思いました。しかし、現状では興味がある人は全体で3割にも満たない状況で、文化芸術活動に興味を持っている人は少数派だと分かりました。

興味のない人にとっては催しが開催される情報を見ても素通りしてしまうと思いますし、無理に興味を持ってもらう必要もないと思います。

興味のあるような催しが開催されることが一番良いと思います。

特になし

子どもの頃からずっと豊田市に住んでいます。

中学生の時に東京フィルハーモニーの演奏を学校を通して聞きに行きました。

同世代の村治佳織さんがギターを演奏されていた記憶があります。

私が東京フィルハーモニーの演奏を聞いたのはこれが最初で最後なので貴重な体験でした。

今年は10歳の娘と「デザインあ」展を見に行きました。娘が大きくなっても、デザインあ展の記憶が残っていてほしいです。

豊田市には素晴らしい施設や体験できる機会が沢山あります。今後も子ども達の心を豊かにする経験する増やしてほしいです。

文化芸術は製造業に代表される効率化により収益を上げるスタイルをとれない
だから市民のニーズにあわせて必要なものは公が支える必要がある

文化芸術と聞くと、かしこまったイメージを持ってしり込みしてしまう人がいるかもしれませんが、計画されていることは、普段の生活の中での出来事だと感じました。多くの市民に「文化芸術」に触れてもらう機会を増やすために、親しみのある気軽な内容を取り入れるといいかな、と思いました。

参合館でピアノやハープの演奏会、とても楽しみにしています。

これからも気軽に子どもたちに本物に触れてもらえる機会を増やして欲しいです。

まちなか芸術祭もスタンプラリーを絡めていて楽しめました。

どんどん増やして欲しいです。

コンサートホールなどを拡充するのも大切ですが、芸術などに興味ない人にどのように興味を持ってもらえるかを考えた方がいい。デザインあとのコラボや愛知トリエンナーレなどは町に作品があり、良かった

まだまだ広報不足で、市民への周知が弱い。

クラシック音楽を気軽に聞ける機会をもっと増やしてほしい。参合館のロビーコンサートは良いと思う。

文化芸術の内容が、クラシック・能楽などに偏っている様に思える。

もっと、幅広い価値観を反映した方がいいのでは

地域の劇団や地元のアーティストによるイベント。以前はいろいろあったような…
コロナ禍ではライブ配信とかでもいいと思う。駅前にでっかいモニターつければ多少密
になりにくいのでは…

コロナウイルスの影響なのか、小学校では学芸会という行事が行われなくなりました。
演じる機会がなくなってしまったので、その分学校教育で芸術や音楽に触れる機会を
作っていただきたいと思います。
身近な場所(交流館やコミュニティセンター)で行っていただくと私は行きやすいと思
います。

例えば和太鼓を1日習ってみたいと思っても、出来るところがないなと思います。定期
的な習い事やサークルしかない、敷居が高く、結果的にやらないままになってしまう
ので、やりたい時にやりたいだけ出来る場があるといいなと思います。

文化芸術活動の範囲に入るかわかりませんが、おかあさんといっしょのコンサート？な
どを開催すると、観劇の機会が増えると思います。

オンラインで鑑賞など、今のこのコロナ禍にはとてもいいなと思います。

これを機に文化芸術に触れてみたい。
新しい美術館に行ってみたい。

豊田市美術館の展示が大変面白く、毎回楽しみにしています。デカスプロジェクトな
ど、新進気鋭の芸術家を発掘する仕組みも面白いです。

体験できる催しがよい

各交流館での習い事の発表会や展示を見るだけでも日常に彩りと豊かさをもたらす大切
な機会です。こども園や学生の発表を見るのも楽しみです。
今までの取り組みや催しに活力を与えるような工夫があればいいと思います。
自治区や子供会行事がコロナを機にどんどん縮小されていますが、忙しい若い世代や習
い事に忙しい子どもたちの負担は減りますが、地域のふれ合いが減り活気がなくなって
いくことを残念に思います。
まずは身近で小さい規模でもいいものを知って、興味がわきさえすれば個人の活動も広
がっていくのではないのでしょうか。

豊田市には美術館、能楽堂、コンサートホールなど、素晴らしい環境が整っていますが、なかなか出向く機会がないのもったいないです。

特に、小さい子ども連れでも行ける機会があれば、嬉しいなと思います。

以前、子どもと参加したコンサートホールでのパイプオルガン演奏会は、とても貴重な体験となりました。

芸術に触れられる機会が多くなるのは良いことだと思う。「学校への文化活動者派遣事業」に興味がある。どんなことを学校でしてもらえるのか知りたくなった。

孫への教育、タブレットも含め進めてほしい 自宅でも学習できるようオンライン授業で登校しないでいいケースもあっていい

美術展、コンサートなどに対して市民割引などの特典がほしい。
文化芸術の情報を簡単に得ることができるようにしてほしい。

コロナでなくてもネットでも芸術鑑賞はできるのでオンラインで絵技術活動の企画があるといい

豊田市美術館のイベントが増えるといいです。

本当に良く考えて、計画してあると思います
市民参加型のイベントも、計画してある様に思いますが
例えば、自分が作った物を気軽にらせる・・・とか
ただ、多くの活動を知らない人が多いのではないかと思います
PR不足では？
「広報とよた」だけでは足りないと思います。

全日本吹奏楽コンクール決勝大会を誘致して豊田市を吹奏楽のメッカとするなど、何か一つ大きなものを豊田市に取り込むといいのではないのでしょうか。
個々人が共通して興味を向けられるものがあるといいと思います。
芸術を楽しんでいるグループが大小いくつもあると思うので、美術館の庭園でアンサンブルも絵画の展示も楽しめるようにするなど、ホールでなく開放された場で催しを実施するなど、小さなものを数多くできるといいです。

立派なパイプオルガンとコンサートホールと能楽堂があるので、少しでも多くの人に体験できる機会を増やしてほしいです。

コンサートホールによく行きます。素晴らしい講演でも空席があることがあります。ヨーロッパのように市民が日常的に音楽を楽しめるようになるといいなと思います。PRをどのようにしていくのかが重要だと思います。

音楽に触れられるイベントが増えるとうれしいです。

いままで文化芸術に触れたことがまったくないので意見感想が思い浮かびません

治市区への出前講座を検討していただきたいと思います。

文化芸術にあまり触れてこなかったので、「第2次豊田市文化芸術振興計画」の善し悪しは分かりませんが、この計画で文化芸術が身近に感じられるようになると良いです。

コロナで芸術に触れ合う機会が減ってしまい残念に思うが、落ち着いたらこの計画のように行けば良いと思う。

海外、特にヨーロッパでは週末に街中に簡易的なステージと、その前にクッションがたくさん置かれてそこに座ってジャズを聴き、曲に合わせてベビーカーに座っている子供たちも踊り出したりと、自然の中で音楽を楽しめたので、そんな素敵な環境が豊田市にもあったらいいなと思う。

特にございません。

いいと思います。

学校教育にもっと文化芸術的要素を取り入れるべきであると思います。

今 コロナで余計ピンとこない

触れ合う機会がなかなかない

美術館や新設の博物館、市民文化会館での展示やイベントに大変期待しています。何よりコロナが少し落ち着いて、文化芸術に触れる機会が待ち遠しいです。(我が家にとっては、不要不急の…と言われると文化芸術は控える対象になってしまうので…)

子どもたちが体験、経験できる機会があると親しみやすい

市民全員がかかわるのは難しいと思うが、希望する人が体験できるような仕組みになるといいと思う。

子供にも芸術に触れさせたいが展示品に触ったりしないか、泣いて迷惑がかからないかなど気がかりな事も多い

また、予約制だったり高額だったりすると申込するのに躊躇してしまいがち規模は小さくてもふらっと立ち寄れると良い

文化芸術というと敷居が高いイメージがあります。図書館や商業施設等に行ったおり、ロビー等で あ 何か楽しそうな事をしてるな。寄ってみよう。

と、気軽に立ち寄れるイベントがあれば、もっと触れてみようとか、興味を持ってくれる団体に出会えたりするかと思います

市民にとって「文化・芸術に触れる機会が増える」ことは、心の豊かさの追求に繋がることになるので、振興計画の実践に注力をいただきたく思います。

そもそも文化芸術を特別なものだと思っているので、親しみやすいものになるとよい

気軽に体験できる機会を増やすことで親しみやすいものとなる。